

皆さん、公共のトイレってどんなイメージをお持ちですか。おそらく、和式が多く不便で不衛生と感じられているのではないのでしょうか。令和2年12月に開催した「まちづくりほっとミーティング」では、トイレをテーマとし、公募により選ばれた13名のかたと意見交換を行いました。「膝が悪いから和式でなく洋式で作ってほしい」、「明るくて清潔なトイレがいい」など多くのご意見をいただきました。いただいたご意見を踏まえ、皆さんが公園や施設などを気持ちよく使え、岡崎を訪れるかたには本市によいイメージを持ってもらえるように“おもてなし”のところで、また、新型コロナウイルスへの感染防止対策にもつながるように「トイレ革命」に取り組んでいます。

本年度は、学区市民ホーム及びこどもの家の全施設の洋式化を含め、160施設以上のトイレの改修、新設を行っています。

施設利用、観光、災害時など様々なシーンで必要不可欠なトイレ。皆さんが安全に、安心して利用できるトイレづくりを進めます。



岡崎市長
中根 康浩